

未来の世代が安心して住み続けられる宮田村を守るために

宮田の環境を守る会通信

第 4-1 号 2015年11月13日発行

最終処分場建設計画に関する 学習会を開催しました！ 村内外から約 250 名が参加！！



学習会の様子

学習会では以下のような問題点が提起されました。

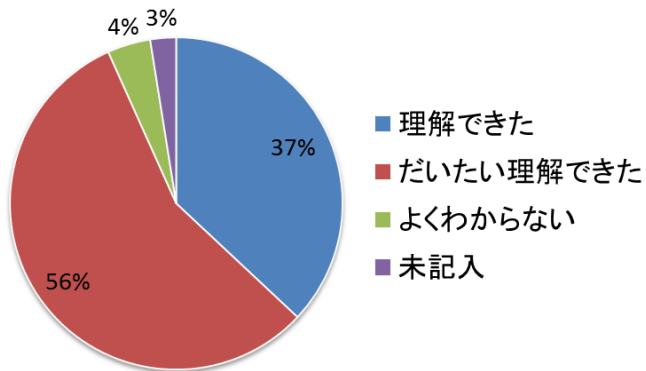
- 建設予定地の地盤は、流れの強い地下水の存在もあり処分場建設に適さない！
- 低レベルとはいえ、放射性物質を含む廃棄物が汚染を免れた圏域外から持ち込まれ、埋め立てられる！
- 天竜川、太田切川合流点であり、もし放射性物質やダイオキシン類などが流出したら下流域が広く汚染される危険性も…
- 風評被害により農産物等の価値が脅かされる！ などなど…

処分場建設には多くの不安と問題があり、到底容認できるものではありません。今後も学習会等を行い、この問題について理解を深めていただくよう活動していきます。

宮田の環境を守る会
会長 田中一男（村議会議員）

廃棄物最終処分場問題を考える学習会 アンケート集計結果

■ 学習会の内容について



回収したアンケートでは、約9割の方が「理解できた」「だいたい理解できた」とのことでした。

■ 疑問点、知りたいこと

- 反対運動が大きくなればやめさせられるか？
- 具体的な抗議・反対のやり方は？個人レベルでできることは？
- 事故があった場合影響は上流域にはないのか？
- 下流域への市町村の情報共有はどのくらい行われているのか？
- 今後の見通しは？「守る会」としてどのような活動をしていくのか？
- どこからどんな廃棄物がくるのか？
- 知事に会うにはどうしたらよいか？

■ 今後取り組んでほしいこと

- 何回でもこのような学習会をして欲しい。村内各地で勉強会を。
- 天竜川下流域、りんごオーナーや生活クラブにも反対署名をお願いしたら。
- 広域で活動して欲しい。近隣市町村との連携。情報網のようなものが欲しい。
- 学習会の内容を通信に載せてより多くの人に知らせて欲しい。
- 県のほうへ早く、住民の絶対反対の意向を伝えて欲しい。
- 県知事への直訴。知事宛に投書作戦はいかがか。

頂いた疑問点等については、今後の「環境を守る会通信」等でお答えしていきます。